

決算

一般会計は6,100万円の繰り越し 単年度収支でも黒字

監査意見書から

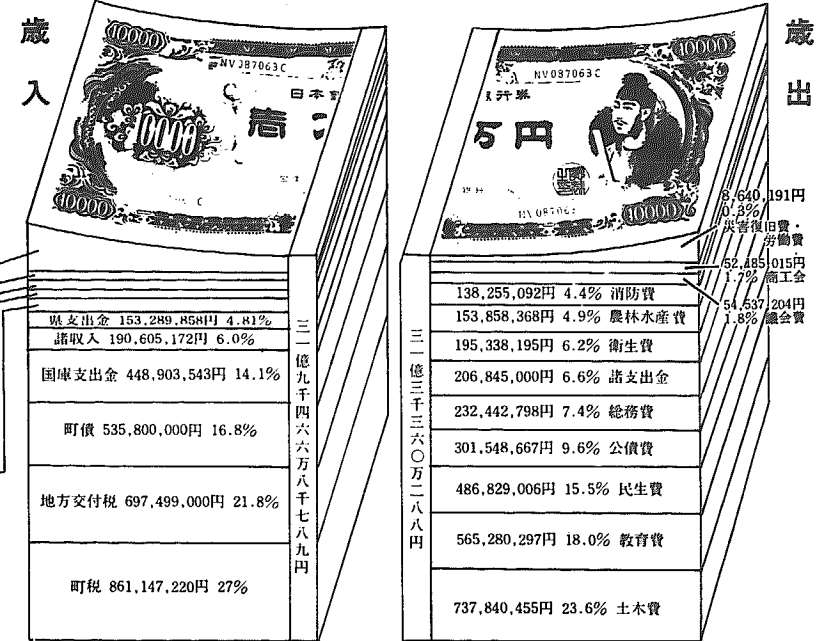
昭和五十四年度の黒崎町の家計簿がどのようになっていたかを、お知らせするのが財政状況の公表です。

町の台所は、みなさんから納めていただく町税、国・県からの支出金や借入金(町債)などによってまかなわれています。

毎年一回、前年度の決算が町議会に上程され、間違いなく使用されたかどうか審議されます。

すでに、ガス・水道・農業共済の各特別会計は九月議会で承認され、広報第一七二号で公表したとおりです。

今回は町の一番大きな、一般会計と国民健康保険・農村公園設置事業特別会計の決算をお知らせします。



自主財源は 三・三%増

自主財源の構成比では、本年度四〇・〇%で、前年度の三六・七%と比較して三・三%、金額で二億四千五百万円増加しました。

これは、町税の増加と諸収入のうち、高速度道路横断構造物内(ボックス)排水設備維持管理費及び新産業都市建設事業にかかる、国の負担割合の引き上げなどによるものです。

歳入予算総額に対する収入率は一〇・四%ですが、自主財源の予算に対する収入率は一〇・一%で、収入の適確な見通しとその確保がうかがえます。

しかし、収入未済額一千八十万円はすべて町税であり、その収入率は九八・六%で、前年度より〇・四%低下しました。

おもな税目別の収納率は、町民税九八・六%、固定資産税九八・二%、軽自動車税九八・〇%で、欠損額の増加が厳しく指摘されています。

一般会計支出の部は 一四・八%の伸び!!

歳出総額は三十一億三千万円で、前年度と比較すると一四・八%の伸び率です。

目的別歳出の状況は、前年に比較して、大きな増減のあった費目は、教育費の四・二%増、民生費三・八%、土木費一・三%の減少となっています。

このおもな原因は、教育費では黒崎中、立仏小の増改築事業など

で、民生費・土木費の減は、前年度山田保育所建設事業・小針街路事業費の減少によるものです。

投資的経費は前年度と比較し減少していますが、表をご覧ください。ただけはおわりのように、板井保育所の新設、町道の整備、都市下水路、小針街路、立仏小の増築、黒崎中の増改築、柳作地区館の建設などが、大きな事業費といえます。

国保財政も 二千四百万円の繰り越し

国民健康保険特別会計は、歳入五億四千万円、歳出五億一千五百余円で、収支決算額は二千四百余円の黒字決算となりました。

このおもな原因は、国庫支出金の大幅な増額と保険給付費が減少したためです。

収入面では

収入金額のうち、保険税は一億九千五百五十八万二千円で、予算額に対し一〇・三%で、構成比では前年とほぼ同率の三六・二%をしめています。

保険税の一世帯当たりの負担額(グラフ参照)は、九万九千二百

支出面では

保険給付状況を前年度と比較してみると、件数で四万八千七百六十九件、給付額では四億九千四百余円で、いずれも前年を上回っています。

一人当たりの保険者負担額は、

昭和54年度一般会計のおもな事業

事業名	金額(千円)
役場庁舎電話交換機設置事業費	3,400
交通安全対策事業費	4,500
興野・善久・立仏保育所冷房設備事業費	4,389
板井保育所建設事業費	86,715
児童公園整地事業費	6,739
ごみ埋立地排水路整備事業費	4,562
地域農政特別対策事業費	52,463
地盤沈下対策事業費	3,481
広域・広域間連農道事業費	1,149
農村総合整備モデル事業実施計画策定事業費	5,555
踏切しゃ断機設置事業費	1,889
町道整備事業費	352,102
前川原地区測量事業費(補助金)	1,700
都市下水路事業費	191,717
街路事業費	94,935
水そう付消防ポンプ自動車購入事業費	10,586
消防署車庫建築事業費	3,450
消火せん新設及び移設事業費	3,978
山田小学校体育館天井張事業費	3,950
大野小学校体育館屋根葺事業費	1,500
立仏小学校増築事業費	35,716
黒崎中学校増改築事業費	237,262
柳作地区館建設事業費	44,514
過年度発生災害復旧事業費	5,011
その他	3,652
合計	1,177,721

六万一千九百九十六円で、前年度と比較して、四千九百九十一円、八七%の増加となっています。歳出面では療養給付費が当初の予定より大幅に減少したため、国保保険給付準備基金へ、一千万円を繰り入れることができました。

国民健康保険特別会計は、今後も医療費の引き上げや高額医療費特に老人医療費が年々増加していることから、現状は良好な財政状況ではあるものの、急速な高齢化社会への移行は、財政に一層のしわ寄せをきたし、制度そのものの崩壊すら懸念され、現在、全国町村会で提唱されている構想に基づき、国の責任で努力するよう、働きかけを行っています。

みなさんも、どうせタダだからといって、無駄な薬をもらったりしないよう心がけましょう。その

1人当の療養給付費と保険税負担額

